

第27回 環境文化講演会

グローバル競争で高まる

企業のESG経営の重要性

Environment（環境）、Social（社会）、Governance（ガバナンス）を考慮したESG経営は、先進国だけでなくアジアを含め世界的に取り組みが始まっています。解説します。

いま、環境というファクターは企業の自主性に任されるCSR活動ではなく、明確な評価基準を設けられ企業が社会の構成員として環境に取り組む姿勢が求められるようになってきているのです。

なぜESG経営が重要視されているのか
なぜステークホルダーを重視しなければならないのか
経営や組織体制はこれからどうあるべきか
サステナブルファイナンスをどう活用していくべきか

前半ではESG経営について解説し、後半ではさらに踏み込んで、非財務情報の開示や関連規制について世界の動向についても紹介しながら、国内企業が対応すべき有価証券報告書等における企業のサステナビリティ情報の開示についての法制定について解説します。

定員60名 / 参加費無料

6/26

水

講師

慶應義塾大学総合政策学部教授
白井 さゆり氏

15:00～16:30 航空会館

主催：公益社団法人環境生活文化機構

講師プロフィール

慶應義塾大学総合政策学部教授 白井 さゆり氏

コロンビア大学経済学博士。アジア開発銀行研究所のサステナブル政策アドバイザーを兼任。

2020-21年EOS at Federated Hermes（英国系の世界主要企業に対するESGエンゲージメント専門会社）の上級顧問。

2011-16年日本銀行政策委員会審議委員として金融政策決定などに関与。

2016-17年パリ政治学院客員教授。元IMFエコノミスト。

世界・日本経済、金融政策、国際金融、気候ファイナンスと企業の情報開示を専門とし、数多くの書籍・論文を英語と日本語で出版。最近の書作としては、『SDGsファイナンス』（日経BP、2022年）、『カーボンニュートンをめぐる世界の潮流』（文真堂、2022年）、『環境とビジネス』（岩波新書、2024年7月出版予定）がある。

2023年11月にアジア開発銀行と同研究所の共同プロジェクトとしてアジアの金融規制当局や中央銀行当局を対象にAsian Climate Finance Dialogueを創設、金融当局と非公式会合やイベントを開催し、金融当局向けのトレーニングを実施している。世界の国際会議や討論会などで数多くの講演や討論者として参加。国内外でコラムの執筆やコメントを多数実施している。



会場アクセス

航空会館 701会議室

〒105-0004 東京都港区新橋1-18-1

◇JR新橋駅 日比谷口 徒歩6分

◇東京メトロ銀座線・都営浅草線 新橋駅⑦出口 徒歩6分

◇都営三田線 内幸町駅A2出口 徒歩1分



参加申込締切

6月21日(金)

参加申込方法

〈FAXの場合〉

下記の参加申込書に必要事項をご記入のうえ本紙を事務局へお送りください。

▶ **03-5511-7336**

〈ホームページフォームの場合〉

環境生活文化機構ホームページにアクセスし、申込フォームに必要事項を入力いただき送信してください。

▶ **<https://www.elco.or.jp>**



参加申込書

	会社名	所属/役職	氏名
参加者			
連絡担当者名		電話番号	

ご登録いただいた個人情報は、当講演会への参加登録以外の目的に使用いたしません。

【お問合せ先】公益社団法人環境生活文化機構 事務局

TEL : 03-5511-7331 E-mail : jimukyoku@elco.or.jp FAX : 03-5511-7336 Web : <https://www.elco.or.jp>